



～ ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する建屋っ子の育成 ～

建小だより

養父市立建屋小学校 学校だより
令和5年3月20日 特別号



今年度の「振り返り」と 次年度の「目標設定」を

学校行事だけでなく、普段の学習にもコツコツ取り組んだ1年間。3学期に入ってからは、丁寧にノートをとったり、意欲的に問題を解いたり、集中して授業に臨む様子が見られるようになりました。最近では、どの学年も確認テストや復習プリントで1年間の総復習をしています。苦手な所や理解が不十分な所は、春休み中に復習をさせてやって欲しいと思います。

授業の様子を見ていると、書き始めるまでに時間がかかる子や、字を書くペースがゆっくりで、ノートをとるのに時間がかかる子がいます。学年が上がるにつれ、学習する内容が難しくなり、授業の進度も速くなります。書くことに慣れていくことも、大切な学習です。

通知表「あゆみ」について

2学期までと異なる点

○3学期のみ評価・記入する項目

*総合的な学習の時間（3～6年）：文章記述で評価します。



○評価の観点および年間評定

*3学期の通知表「あゆみ」には、評価の観点の右横に、年間評定が記載されます。

ただし、1・2年生について観点別評価のみで、年間評定（1～3）を行いません。

*評価の観点（◎・○・△の3観点）については3学期の評価ですが、右欄に記載される年間評定（1～3）については「通年」の評価となりますので、ご覧いただく時には、その点ご留意ください。

【3学期】

学 習 の よ う す

3学期の評価

年間の評定

教科	観 点	学 習 の め あ て	
		学 習 の よ う す	評 価
国 語	知識・技能	言葉や文字、語句や文章の特徴を理解して使ったり、相手に伝わるよう音読や朗読をしたりする。	
	思考・判断・表現	【話すこと・聞くこと】 事実と感想、意見を区別して構成を組み立てて分かりやすく話したり、自分の考えと比較しながら聞いたりする。	
		【書くこと】 自分の考えが伝わるように、図表やグラフを用いるなど工夫して、筋道の通った文章を書く。	
		【読むこと】 人物像や物語などの全体像や表現の効果を考慮して読み取る。	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを認識するとともに		
社 会	書写	用紙全体との関係、配列、点画の	
	知識・技能	我が国の政治の働きや、先人および	
	思考・判断・表現	社会的事象を多角的に考えたり、判断したり、考えたことなどを適切	
	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、主体的に問題解決しようとしていたり、学習したことを社会生活に生かそうとする。	

※通知表（あゆみ）は評価の一部です。がんばったことや課題だと思ふことをお子さんから直接聞き、しっかり褒め、認めてあげてください。子どものやる気を引き出すチャンスです。



Have a nice spring vacation! よい春休みを

令和4年度が間もなく終わります。卒業式、修了式が終われば、待ちに待った春休み。学校が休みになる開放感から、つい気が緩みがちな春休みですが、この時期は交通事故や犯罪などのトラブルに巻き込まれやすい時期でもあります。

本校では、3学期の個別懇談会を行っていませんので、家庭で特に気をつけていただきたいことを「たきのやっこ 春休みのくらし」にまとめ、配布します。親子そろって読んでいただき、安全で充実した春休みになりますようご配慮ください。

1 「たきのやっこ 春休みのくらし」を親子で読んで、確認する

- ①交通安全に留意して、事故や怪我のない春休みに。
- ②「知らない人について行かない」「不審な人を見かけたら、すぐに大人に報告する」

※この点を特に徹底させましょう。合い言葉は、「いかのおすし」です。

※不審者については、速やかに警察・学校へ連絡してください。すばやい対応が、解決につながります。市内でも、3月に入ってから不審者による痴漢行為がありました。

※出かける時には、「どこに行くのか」「誰と行くのか」「いつ帰るのか」を、家の人にしっかり伝える習慣をつけさせましょう。

※帰宅時間を守ることや、友だちの家に行くときはマナーを守ることなど、社会生活を送る上で大切なことを、少しずつ教えていきましょう。



2 「春休みのくらし点検表」を活用して、計画的な春休みに

- ①今年度使用した教科書やノート、プリントなどの整理をさせましょう。

※テストやノート、プリントは大切な学習の記録です。必要な物は綴じる、不要な物は捨てるなど、親子で一緒に整理しましょう。

※教科書の中には、次年度も続けて使用するものがあります。

- ②「そうあんくんの日」の実践を春休みに活かしましょう。

「そうあんくん新聞」を拝見すると、親子で色々話し合ったり工夫したりしながら、お手伝いや自主学習、ノーメディアに取り組んでいただいている様子が伝わってきます。さすがに、毎日「ノーメディア」というわけにはいきませんが、親子で日を決めて、何日か取り組んでみてはいかがでしょうか。



【保護者の皆様へ】お願いしたいこと

未成年の子どもにゲームやスマホを持たせる場合、保護者には「使用のマナーやルール」を指導し、守らせる責任および義務があると考えています。ゲームやスマホなどのネット通信機器には、依存症になる恐れや触法行為に発展する危険が潜んでいます。メディアには光と影の両面があることを理解させ、上手な付き合い方ができる子どもに育てていきたいですね。

対策としては、①フィルタリングをかける ②どんな動画を視聴しているか、どんな内容のゲームをしているかを確認する ③時間やマナーなどのルールを決め、守らせる ④寝る前は決めた場所にゲームやスマホを置く（寝る部屋に持ち込まない）などが考えられます。

長期休業中は、テレビや動画の長時間視聴についても要注意です。3月9日付けの「ほけんだより」で、健康に与える影響についてふれていますので、参照してください。